

廃棄物処理施設見学バスツアーの実施結果について（平成 26 年度第 3 回）

栃木県環境森林部廃棄物対策課

1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、循環型社会の形成において必要不可欠な施設ですが、普段県民の皆さんが目にする機会が少ないこともあり、「迷惑施設」として捉えられることが多いのも事実です。

そこで、県と関係団体では、廃棄物処理施設に対する理解を深めていただくことを目的として、施設見学バスツアーを企画しています。

2 ツアーコンセプト

焼却施設や堆肥化施設における廃棄物処理の様子や、アルミ板製造工場における使用済みアルミ缶等の有効活用の様子を通じて、循環型社会の形成について学んでいただけるようなツアーとしました。

3 実施日

平成 27 年 3 月 7 日（土曜日）

4 参加者

39 名（うち小学生 3 名）

5 見学ルート

8:45 栃木県庁出発

9:35-11:10 ㈱アクトリー R&D センター

【壬生町にある産業廃棄物の焼却施設。廃棄物が焼却処理される工程や環境への配慮の取組を見学しました。】

13:10-14:40 ㈱神戸製鋼所真岡製造所

【真岡市にあるアルミ板製造工場。アルミ缶等のリサイクルについて学習し、使用済みアルミ缶等が原料となっているアルミ板の製造工程を見学しました。】

15:20-16:10 ㈲ドンカメ

【芳賀町にある一般廃棄物及び産業廃棄物の堆肥化施設。発酵処理の仕組みを学習し、発酵棟などを見学しました。】

17:25 栃木県庁到着



【㈱アクトリー焼却施設見学の様子】

6 当日の様子

施設見学の際には多くの質問があり、参加者と事業者の間で活発なやりとりが行われました。

参加者からは、「立派な施設で環境に配慮していると感心しました」、「普段の生活で何気なく処分しているゴミ等のリサイクルの様子が見られ良かったです」等の意見を頂きました。

7 今後について

来年度も 3 回程度開催を予定しています。詳細は、県民だよりや県廃棄物対策課のホームページ等でお知らせします。

バスツアー アンケート結果

○ 参加者:39名 ○有効アンケート回答:37件

Q.1 性別を教えてください。 Q.2 年代を教えてください。 (単位:名)

男性	女性	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	80～
21	16	2	0	1	1	8	11	13	1

Q.3 バスツアーをどのように知りましたか。

①県民だより	②新聞記事	③県HP	④学校からの紹介	⑤家族、知人の紹介	⑥その他
12	12	2	3	7	1

Q.4 参加の理由(複数回答可)

①環境・廃棄物に興味あり	②廃棄物処理施設を見たことがないため	③その他
19	22	3

Q.5～Q.7 施設見学先について

見学先	①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他	主なご意見
(株)アクトリー R&Dセンター	37	0	0	0	廃棄物を処理することにより他のエネルギー(電気等)に変えるところがすごい。
(株)神戸製鋼所 真岡製造所	36	0	1	0	普段見られない工場を見学でき良かったです。アルミ缶の回収率も高く感心しました。
(有)ドンカメ	33	0	1	3	堆肥のできるまでを実際に見ることができ良かったです。丁寧な説明もためになりました。

Q.8 今回のバスツアーは、環境や廃棄物を考えるにあたり参考になりましたか。

①参考になった	②参考にならなかった	③どちらでもない	④その他
37	0	0	0

Q.9 Q.8で「参考になった」と回答した方は、具体的に何の理解が深まりましたか。(複数回答可)

①処理施設の役割	②処理施設の安全性	③製造業者の取組姿勢	④処理業者の取組姿勢
28	16	13	21